

いけないリニアのお話し?!



J R 東海で働く社員のみなさん!

知っていましたか? うちの会社の偉い方々は、「リニア新幹線」について、ついこの間まで、このように言っていました。

「自費でできる」「国の支援は受けない」「税金は使わないから安心して下さい」と。名誉会長の葛西氏に至っては、「国のカネで

つくと時間がかかるし政治介入を招く。経営の自主性を守るために自己資金でつくることを決断した!」てな具合に・・・。

さすが改革三ばかラス葛西さん! 「よくぞ言った! ?」と当時は思ったものです。しかし、選挙目当てだと思いますが、葛西さんのご友人の安倍首相が、6月1日に唐突に「リニアに財投活用で大阪延伸を前倒しする」とブチ上げました。そして8月2日(卑怯なことに国会閉会后)に、その考えは正式に閣議決定され、とうとう3兆円もの財政投融资までこぎ着けました。

しかも本来、財投融资の権限のないJ R 東海が、裏技で法改正まで行ない、さらに利子は、市場の10分の1という違法とも言うべき支援を今後受けることになったのです。

この超破格の待遇に、さすがの柘植社長は手のひらを返したよう「総理の～ご発言大変ありがたい。～全力で取り組みたい!」とあがめつつもちゃっかりと「経営の自主性が担保される必要性に言及」したようです。

財投の「将来に受益者負担」という法規定との関係をどう考えているのだろうか? 少し背筋が寒くなるお話です。

ペイしない皮算用

公共事業などは3倍や4倍は当たり前の常識。ちなみに上越新幹線でさえ、当初の建設費の3倍もの1兆7000億円で竣工しました。

となると単純計算で、リニアの場合は27兆円もの計算となり、長期債務が2兆円以上、さらに「リニアはペイしない」という絶対条件を入れると、国民へのツケは如何ほどになるのだろうか?

まったく背筋が凍りつくお話だ・・・。

(葛西氏と安倍総理へ)

「今、日本は弱者に対して恐ろしいほど酷薄な社会になってしまった。

リニア新幹線を走らせるよりも、飢えた子どもが一人もいない社会を作ることがどれだけ難しく価値のあることか」

赤川次郎エッセイより
(袴袴)



2016-9-4